

製品名: PYK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03171**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 116 kDa; Observed MW: 116 kDa

抗原情報

遺伝子名	PTK2B
別名	PTK2B; FAK2; PYK2; RAFTK; Protein-tyrosine kinase 2-beta; Calcium-dependent tyrosine kinase; CADTK; Calcium-regulated non-receptor proline-rich tyrosine kinase; Cell adhesion kinase beta; CAK-beta; CAKB; Focal adhesion kinase 2; FADK 2; Pro
遺伝子 ID	2185
SwissProt ID	Q14289
免疫原	ヒト PYK2 の合成ペプチド

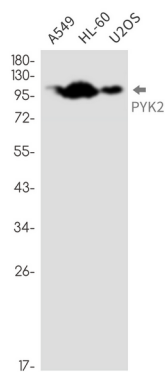
背景

PYK2 は Fak ファミリーに属する非受容体型チロシンキナーゼです。主に造血系由来の細胞および中枢神経系で発現しています。PYK2 は G タンパク質共役受容体のシグナル伝達メディエーターの一つです。カルシウム誘導性イオンチャネルの調節および MAP キナーゼシグナル伝達経路の活性化に関与しています。Grb2 の SH2 ドメインと相互作用します。

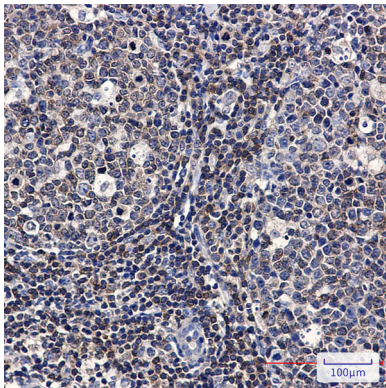
研究分野

シグナル伝達

画像データ



PYK2 抗体を使用した A549、HL-60、U2OS 溶解物中の PYK2 のウエスタンブロット分析。



PYK2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。